

おかちまち たいとう

台東区立御徒町台東中学校 学校だより 第11号

令和4年1月25日(火)

校長 福沢 俊之

Tel 03(3831)3787

学校ホームページ

<http://www.taitocity.net/okachimachitaitou-jhs/>

↑更新中



新しい年の始まりにあたって

校長 福沢俊之

年末には、落ち着きを見せていた新型コロナウイルスの感染状況ですが、年が明けてから急激な広がりを見せています。現在の流行の特徴は、感染のスピードがこれまでになく速いこと、二十代を中心に若い人々への感染が広がっていることがあげられます。都内の感染者数が 3000 人を超えた 1/14(金)の都知事の会見では「感染は止める、社会は止めないということを念頭にしながら、しっかりと対策を講じて……」というコメントがありました。今後、関係機関との連携を強化するとともに、皆様にも学校ホームページやメール等を通じて情報提供しながら、学校運営を進めてまいります。

さて、年が明けて松の内の頃までの新聞には、新しい年を占うような記事がたくさんあります。また投書欄にも、小学生から高齢の方までいろいろな人たちの新年ならではの投書が数多くみられました。例えば、1月3日の新聞の投書欄に、次のような13歳の中学生の投書がありました。

私は音楽が好きだけど、練習は苦手。集中力がないからだ。練習していてもスマホを見たり本を読んだり……。(中略) これまで何度も「集中できるように」と取り組んだが、結局、今も身につけていない。これは音楽だけでなく勉強にも当てはまる。大好きな音楽で集中できないのだから、好きでもない勉強は当たり前だ。おまけに運動も得意ではない。勉強も運動も苦手なので音楽こそ頑張りたい。(中略) 将来は好きな音楽の仕事に就きたい。夢はミュージカルやオペラの舞台女優になることだ。そのために私は努力し、「努力のできる人間」になりたい。自分のやりたいことを続けるしかできないので、強い決意で臨みたい。

全国紙の記事ですが、決して特別なものではなく、共感できる、思い当たる、という人も多いのではないかと思います。始業式の校長講話の中でも紹介をしました。

人間には、二通りの時間の感じ方がある、といつも感じています。一つは、「未来に向かって直線的に進んでいく時間」と、もう一つは「毎年毎年、循環する時間」です。「直線的に進む」という感覚からすれば、例えば大晦日も新年も通過点であり、過去に戻ることはできない、という感覚です。一方「循環する」と考えると、例えば新年は新しい年のスタート、これまでのことをリセットして、自分の気持ちや決意も新たにすると、という感覚でしょう。

先ほどの中学生の投書では、集中力が身につけてこなかった自分を反省しつつ、あらためて自分の夢を叶えるために、今年こそは「努力できる人間」になりたい、と決意を強く、新たにしています。「時間は直線的に進む」ことが現実ですが、その中に「循環する時間」を考えることができるからこそ、去年はうまくいかなかったけれど、今年こそは…、と改めてやる気を奮い起こすことができる、そうした生き方を繰り返しながら人はいくつになっても成長していけるのだと思います。

新しい年の始まりを、新たな気持ちで努力をしようと思心する良いチャンス、新しい目標に向かう推進力にしてほしいと思っています。

令和3年度第74回英語学芸大会

Speakingの部 出場(オンライン)

(2-2)

「To make our world better」

(1-2)

「Christmas Truce」

ソフトテニス1年生大会

男子の部	2回戦進出	(1-1)	(1-4)
	2回戦進出	(1-2)	(1-3)
	出場	(1-2)	(1-2)
女子の部	3位	(1-2)	(1-2)
	3位	(1-4)	(1-2)

夢・未来プロジェクト ヨーコゼッターランドさん

(元アメリカ女子バレーボール代表選手・1992年バルセロナ銅メダリスト)

「アメリカと日本の文化の違い・オリンピックへの思い」の講演を聴いて

(2-1) 僕は先生の講演を聞いて、心に響いた言葉があります。それは、何事にもあきらめず、やり遂げるということです。僕はすぐにあきらめてしまう人なので、この言葉を聞いて苦手なことや嫌なことも前向きに頑張っていこうと思いました。今特に打ち込んで頑張っていることはないのですが、今後何か新しい目標を見つけて一生懸命頑張っていきたいです。

(2-1) 私が一番印象に残っているのは、「オールアウト」です。何事にも全力で挑むことは、勉強にも部活にも大切だと思ったので、これからの生活に活かしていきたいと思いました。また部活でもわかりやすく教えていただきありがとうございました。今回の経験を活かし、頑張ってお練習していきたいと思います。

